

道明寺駅周辺まち整備協議会 ニュース vol.5

2022年
2月

道明寺駅周辺まち整備協議会は、道明寺駅周辺において、地域で活動する団体や行政などと連携しながら、地域の課題を話し合い、道明寺の特性を活かした魅力あるまちづくりを推進することを目的に設立されました。

このニュースでは、協議会での活動内容についてお知らせいたします。

駅前整備・周辺整備基本構想の方向性について 前回に続き話し合いを行いました

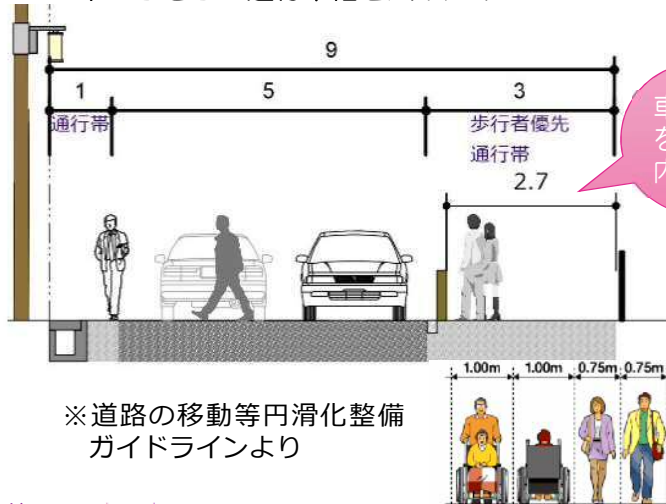
2月22日に、道明寺駅周辺まち整備協議会の令和3年度第5回会議を開催しました。前回に引き続き、整備検討のイメージ、道明寺駅周辺整備基本構想などについて意見交換を行いました。

日時：令和4年2月22日
場所：道明寺会館
参加者：15名

1. 整備検討のイメージについて

車止めを設置するなど、歩行者優先度を高めた C-2 案をもとに、道路構成や道路等舗装整備について意見交換を行いました。意見交換の結果、通行帯の幅や車止めの有無については、図面上では判断しかねるため、実際に現場で体感・確認したうえで、再度検討することになりました。

■C-2 案からさらに通行帯幅を広げたイメージ



道路の通行帯等の構成等についての意見

- 車止めの設置には反対である。車止めを設置しても送迎の駐車はなくなり、道路部分が駐車で埋まるのではないかと。そうすると非常時に緊急車両が通行できなくなる事態が起こりうるのではないかと。
- 歩行者によるぎわい形成のためにも、車の流入を一定程度制限し、安全な歩行空間を確保する必要がある。
- 歩行者の安全を確保するためにも車止めは設置すべきである。

②道路等舗装整備について

- 舗装材については車路や通行帯の舗装デザインと合わせて今後検討していく。
- 大阪駅前の柵の事例のようにライトアップする方がよい。当該地でも実践したい。

①自然石舗装例



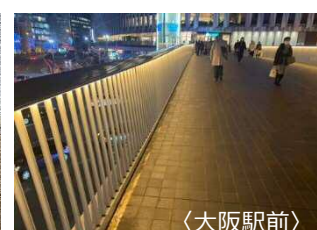
②半たわみ性舗装例



③薄層舗装例



■横断防止柵事例



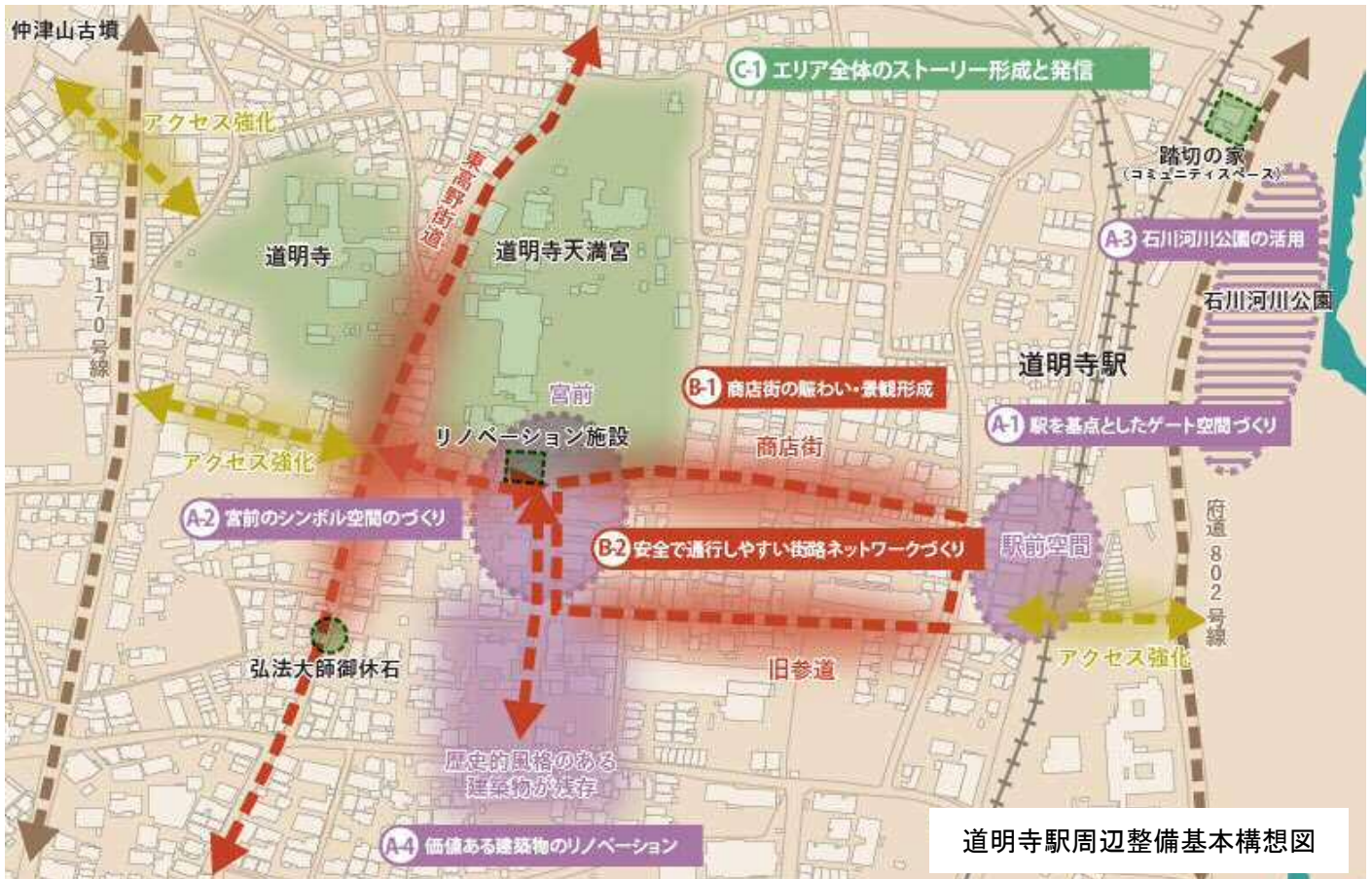
2. 道明寺駅周辺整備基本構想について

前回での議論を踏まえて、駅前以外の地区全体での整備や事業について、意見交換を行いました。これらの意見を踏まえたうえで、地域で共有を行い市長への提言を目指します。

コンセプト「歴史と文化がかおる住む人・訪れる人にやさしいまちづくり」

重厚な歴史・文化のそばに人々の暮らしや営みが根付く道明寺地域。

親しみのある歴史都市であるこの地域で、「住む人」「訪れる人」「もてなす人・仕掛ける人」をつなぎ、地域が多様な魅力で満たされるストーリーを描きます。



〈宮前の整備についての意見〉

- ・天満宮の歴史を物語るサインや看板を設置してはどうか。
- ・天満宮の礎石跡周辺のみ舗装を変えるなど、歴史を際立たせるしつらえを施してはどうか。
- ・宮前南北道路は元来境内であったため、重点的に整備したい。

〈その他取り組みについての意見〉

- ・駅前周辺だけでなく広域も含めた観光ネットワークをつくってはどうか。
- ・まちなか観光創造プランと足並みを揃えて、各取り組みを展開できるとよい。

新規の会員、整備内容へのご意見をお待ちしております！

発行：道明寺駅周辺まち整備協議会

協議会参加団体等：道明寺まちづくり協議会、道明寺地区会、道明寺天神通り商店街、道明寺地車保存会、道明寺南小学校PTA、藤井寺市観光ボランティアの会、道明寺天満宮

連絡先：事務局（藤井寺市 都市整備部 まち建設課 設計・施工担当）

TEL 072-939-1099

FAX 072-952-9504

参加者
大募集!

学生さんの参加も
歓迎します!